

[22]哲学論文集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1397702>

出版情報：哲学論文集. 22, 1986-09-20. 九州大学哲学会
バージョン：
権利関係：

六十年年度大会報告

六十年年度例会及び大会は、福岡大学の主催によって以下のように行われました。

○春季例会

六月十五日、福岡大学文系センター十五階会議室において開催されました。研究発表の題目と発表者、及びシンポジウムの提題、提題者、質問者、司会者は次の通りです。

一、研究発表

意識の二元性について

浅田 淳一

二、シンポジウムI — 記憶 —

提題 アウグスティヌスの記憶論（告白）第十卷）における場所的表現の意味の探索

提題者

荒井 洋一

特定質問者

谷 隆一郎

司会者

清水 正照

提題 ソクラテスの行為の知

提出題者

森 俊 洋

特定質問者

武 宮 謙

司会者

今 村 茂

浅田氏は現在九大文学部大学院博士課程（倫理学）で研究を続けておられます。

荒井氏は昭和五十二年九大文学部大学院博士課程（哲学）を中退され、現在は東京学芸大学に勤務しておられます。

谷氏は昭和五十一年東京大学文学部大学院博士課程を修了され、現在は九州大学文学部に勤務しておられます。

清水氏は昭和三十四年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は九州芸工大学に勤務しておられます。

森氏は昭和四十四年九大文学部大学院博士課程（哲学）を中退され、現在は九州大学教養部に勤務しておられます。

武宮氏は昭和三十七年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は山口大学に勤務しておられます。

今村氏は昭和二十四年九大文学部哲学科を卒業され、現在は福岡大学に勤務しておられます。

○秋季大会

九月二十八日、福岡大学文系センター十五階会議室において開催されました。研究発表の題目と発表者、及びシンポジウムの提題、提題者、討論者、司会者は次の通りです。

一、研究発表

無限性と承認の概念

二、シンポジウムI — 国家 —

提題 国家——その起源から——

提題者

討論者

司会者

シンポジウムII — 習慣 —

提題 トマス・アクィナスにおける徳の概念

提題者

討論者

司会者

西郷大作

小林信行

山崎庸佑

吉田雅幸

上野正二

森俊洋

稲垣良典

猪城博之

林賢市

清水正照

谷口忠顕

菅豊彦

松永雄二

西郷氏は現在九大文学部大学院博士課程（倫理学）で研究を続けておられます。

小林氏は昭和五十二年九大文学部大学院博士課程（哲学）を中退され、現在は福岡大学に勤務しておられます。

山崎氏は昭和三十八年東京大学文学部大学院博士課程を修了され、現在は九州大学文学部に勤務しておられます。

吉田氏は昭和五十二年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は長崎大学教養部に勤務しておられます。

上野氏は昭和五十四年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は聖マリア病院に勤務しておられます。

森氏は昭和四十四年九大文学部大学院博士課程（哲学）を中退され、現在は九州大学教養部に勤務しておられます。

稲垣氏は昭和二十六年東京大学文学部哲学科を卒業され、現在は九州大学文学部に勤務しておられます。

猪城氏は昭和十九年九大文学部哲学科を卒業され、現在は第一経済大学に勤務しておられます。

林氏は昭和二十六年九大文学部倫理学科を卒業され、現在は福岡大学に勤務しておられます。

清水氏は昭和三十四年九大文学部大学院博士課程（哲学）を修了され、現在は九州芸工大学に勤務しておられます。

谷口氏は昭和四十三年及第文学部大学院修士課程（倫理学）を修了され、現在は福岡工業大学に勤務しておられます。

菅氏は昭和四十三年九大文学部大学院博士課程（哲学）を中退され、現在は九州大学教養部に勤務しておられます。

松永氏は昭和二十七年京都大学文学部哲学科を卒業され、現在は九州大学文学部に勤務しておられます。